

（計画期間：平成 29 年度～平成 34 年度まで）

本計画は、基本法第 14 条第 1 項に基づき富山県が策定する「都道府県アルコール健康障害対策推進計画」です。

＜基本理念＞

- ・アルコール健康障害の発生、進行及び再発の各段階に応じた防止対策を適切に実施するとともに、アルコール健康障害を有し、又は有していた者とその家族が日常生活及び社会生活を円滑に営むことができるように支援すること。
- ・アルコール健康障害対策を実施するに当たっては、アルコール健康障害が、飲酒運転、暴力、虐待、自殺等の問題に密接に関連することに鑑み、アルコール健康障害に関連して生ずるこれらの問題の根本的な解決に資するため、これらの問題に関する施策との有機的な連携が図られるよう、必要な配慮がなされるものとする。

＜基本方針＞

正しい知識の普及及び不適切な飲酒を防止する社会づくり	誰もが相談できる相談場所と、必要な支援につなげる相談支援体制づくり
医療における質の向上と連携の促進	アルコール依存症者が円滑に回復、社会復帰するための社会づくり

＜重点目標＞

<p>飲酒に伴うリスクに関する知識の普及を徹底し、将来にわたるアルコール健康障害の発生を予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少 ○未成年者の飲酒をなくす ○妊娠中の飲酒をなくす 	<p>アルコール健康障害に関する予防及び相談から治療、回復支援に至る切れ目のない支援体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域における相談拠点の設置 ○専門医療機関の設置
---	--

＜具体的な取組み＞

①教育の振興等	⑥相談支援等
②不適切な飲酒の誘引の防止	⑦社会復帰の支援
③健康診断及び保健指導	⑧民間団体の活動に対する支援
④アルコール健康障害に係る医療の充実等	⑨人材の確保等
⑤アルコール健康障害に関連して飲酒運転等をした者に対する指導等	⑩調査研究の推進等

【主な取り組み】

- アルコール依存症患者に対して適切な医療を提供することのできる専門医療機関を県内で1か所以上選定する。
- 心の健康センターや厚生センター等を中心として、アルコール健康障害を有している者やその家族にとって分かりやすく、気軽に相談できる相談拠点を定め、広く周知を行う。
- アルコール健康障害について理解を深め、正しい知識を身に付けられるよう、新たなパンフレットを作成し、未成年者を含めた一般県民への普及啓発を図る。

＜推進体制＞

平成 34 年度を目標年度として実施する。計画を着実に推進するため、中間年度である平成 32 年度に、「富山県アルコール健康障害対策関係者会議」において、必要な事項の協議、計画目標の達成状況及び施策の進捗状況について中間評価を行い、より効果的な取組みを推進する。